

視察セミナーご参加を検討中の皆様へ

競争の増加や高齢者人口の頭打ちなど、外部環境は常に変化しています。厳しい環境の中で持続可能な組織を目指すには、時流に適応し、地域に求められるニーズを汲み取り、素早く着実に実行に移せる組織である必要があります。社会福祉法人永寿荘は、数々の施策を素早く実行に移し、結果としてこれまで紹介した様々な取り組みを実践されています。実際に訪れることで、自法人でも即実践できる具体的な取り組みそのものから、それを生み出す仕組みまで学ぶことができます。皆様のご参加をお待ちしております。



現場職員との座談会あり！視察・講演スケジュール

第1講座 13:00~13:30	「地域開放」と「高生産性」の両軸を兼ね備えた施設作りの必要性 利用者・職員の獲得競争環境が激しくなるなかで、従来通りの施設運営では持続的に収益を確保することが難しくなっています。高齢者人口・生産年齢人口・施設数の推移から外部環境を紐解きます。	株式会社船井総合研究所 介護・福祉支援部 三浦 基寛
第2講座 13:30~14:20	地域×介護×障がい 地域に根ざした社会福祉法人 永寿荘の取り組み どのような企業理念により、ご福あげおを作られたのか。またそれを実現した人材の育成や組織づくりの手法、そして地域のニーズに応える形で広がっていった事業展開についてお話しいたします。	社会福祉法人永寿荘 理事長 永嶋 正史氏
第3講座 14:40~16:00	施設長講話&現地見学 ご福あげお施設長であられる杉浦施設長から、施設の設計コンセプトと施策の数々を現場に定着させる方法や活用後の効果をお話し頂きます。その後施設内の地域住民で賑わう「Cafe Dining 529」地域開放型コミュニティサロン「ふれあいサロン」全床導入された睡眠見守りシステム・ノーリフトケアを実現するICT機器と使いこなす現場を視察します。	社会福祉法人永寿荘 特別養護老人ホーム ご福あげお 施設長 杉浦 佑介氏
第4講座 16:10~16:30	質疑応答・座談会 実際に現場で働いている職員たちと座談会形式で質疑応答を実施いたします。ICT・DX導入当初はどのような苦労があったか、どのように活用しその後業務はどのように変化したのか。皆様の施設で導入する際に現場目線から押さえるべきポイントが分かります。	
第5講座 16:30~17:00	多角化・多機能化した法人を作っていくためにすべきこと 当日の視察内容を総括し、自社施設に落とし込むためのポイントを整理します。永寿荘の成功事例を「再現可能なノウハウ」へと、参加企業様が明日から着手すべきアクションプランを提言します。	株式会社船井総合研究所 介護・福祉支援部 マネージング・ディレクター 管野 好孝

開催日時 **2026年5月25日月** 13:00~17:00 (受付開始:開始時刻30分前~)

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

開催場所 社会福祉法人永寿荘 別養護老人ホーム ご福あげお JR高崎線 上尾駅 西口、JR川越線 指扇駅 北口からバス15分

お申込み期日 銀行振込み:開催日6日前まで クレジットカード:開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合がございます。

受講料 一般価格 税抜50,000円(税込55,000円)/一名様 会員価格 税抜40,000円(税込44,000円)/一名様
※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】
右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/140960>
船井総研ホームページ(<https://www.funaisoken.co.jp>)の右上検索マークから「140960」をご入力検索ください。



【お問い合わせ】船井総研セミナー事務局 E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000(平日9:30~17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

なぜ地域交流スペースに 年間1.6万人が殺到するのか? 次世代型特養 視察セミナー

集客・採用にも直結

in 埼玉県上尾市

平均年齢 **33歳** リーダー以上 PC支給率**100%** 新卒採用 毎年**20名**

介護DX・ICT 腰痛離職**0** ノーリフトケア おしゃれカフェ併設 地産地消



介護・障がい・保育、計26事業所経営する 地域密着法人の視察ポイント!

- ▶ カフェ併設施設の設計コンセプトと5年間の成果・実績
- ▶ 数々の施策を50人以上の現場に定着させる方法
- ▶ 地域開放型コミュニティサロンの役割
- ▶ 見守りセンサー×インカム×ノーリフトケアによる「業務負担半減」

開催日程 **2026年5月25日** 開始 13:00 解散 17:00 (受付 12:30 より)

開催場所 社会福祉法人永寿荘 ご福あげお

年間1.6万人が訪れるカフェ併設! 次世代型特養視察セミナー お問い合わせNo.S140960

主催 サステナブルグロスカンパニーをもっと。 Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

当社ホームページからお申込みいただけます。船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索マークに「お問い合わせNo.」を入力ください。 140960

年間来客数1.6万人のカフェ併設×腰痛離職ゼロ

高生産性と地域密着を両立する永寿荘ご福あげおの4つの見どころ

① 地域住民が日常的に集う「次世代型」特養のリアルを体感



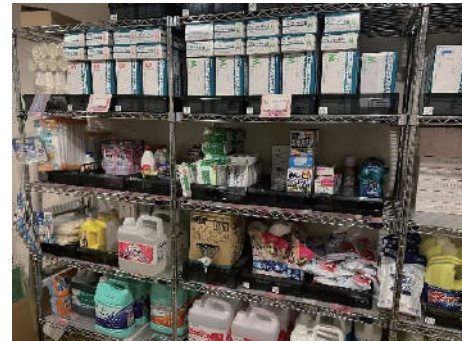
年間1.6万人が訪れる本格カフェ「Cafe Dining 529」を併設し、地域に開かれた施設のあり方を視察します。単なるお茶飲み場などの交流スペース設置に留まらず、本格的な料理と空間提供により外部の人が目的地として訪れるまで昇華させたカフェ戦略を公開します。地域住民が日常的に出入りすることが施設の閉鎖的な壁をいかにして壊し、その地域共生モデルが入居相談や採用ブランディング、地域ブランドの向上にどう繋がっているのか、実際の波及効果を現地でご体感いただけます。

② 「最新テクノロジー×ノーリフトケア」による高い生産性の間近で見学



全床導入された見守りセンサーやインカム、ノーリフトケアの活用実態を公開します。設備を導入するだけでなく、職員が武器として使いこなす定着までの教育ステップや、夜勤配置の効率化、腰痛離職の防止といった具体的な成果を生み出す現場マネジメントの工夫は必見です。

③ 徹底したブランドマネジメント



「この施設なら安心」「ここで働きたい」という信頼は、日々の振る舞いや環境の積み重ねから生まれます。館内の隅々まで清掃が行き届いた5Sの徹底ぶりや職員の身だしなみ・言葉遣い・接遇マナーを確認いただけます。どのようにして現場に意識を浸透させているのか、その教育の仕組みと、ブランドマネジメントが利用者や家族・職員の安心感にどう繋がっているのかを学びます。

④ 多角化・多機能化の源泉 組織・人材のマネジメント・育成の仕組みを学ぶ



「For The Community—地域を元気に、笑顔をつなぐ」という理念をいかにして現場レベルに落とし込んでいるのか。地域のニーズに応える形で、多角化・多機能化した永寿荘が素早く実行力のある法人へと成長するための人材育成・組織づくりとして行っていることを紹介します。自法人で実践するための具体的なアクションプランに落とし込みます。

社会福祉法人 永寿荘のご紹介



2002年に法人設立。2004年に最初の施設である特別養護老人ホーム扇の森が開設。その後デイサービスや居宅、保育園など多様な施設を次々と開設。2018年に今回視察する特別養護老人ホームご福あげおと併設するカフェ「Cafe Dining 529」をオープン。直近5年間で15事業所を開設するなど、非常に動きが早い経営が特徴の一つ。2026年2月に人を大切にする経営を実践する法人に贈られる「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 厚生労働大臣賞を受賞。2026年4月にはアメリカの西海岸をイメージとした外観・内装の地域密着型特養「おおなりテラス」を開設するなど、斬新な取り組みを次々と生み出し続けている。

社会福祉法人 永寿荘のここがすごい！

POINT 1 魅力あふれる施設作り

今回視察するご福あげおでは、なんと直接見学後の入所申込がほぼ100%決まっています。本格的なカフェが強力なフックになっているほか、職員へ行き届いた接遇、非常に綺麗な状態が保たれた外観・内装など選ばれる施設になるための工夫が随所に見られます。

POINT 2 多角化・多事業化の推進

介護施設を7つ、保育園・認定子ども園を5つ、障がい福祉事業を1つ、それ以外にも英会話塾などの子育て事業を中心に多くの事業に取り組んでいます。

POINT 3 巧みな組織づくり

職員の教育に力を入れており、現在の主任クラスのほとんどは新卒で採用され成長を遂げた職員が占めています。また本部が大きな権限を持つのではなく、各施設長に権限を移譲することで素早い実行力を担保しています。